

【一般社会人のためのスポーツ実技講座】  
「バドミントン 初・中級編」  
[ 9:30～12:00 ]

開催日は変更する可能性があります。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、延期・中止もありますのでご了承ください。  
開催日の変更等についてはHPをご確認ください。

対象:初心者と上級者を除き、**基礎打ちができる初級および中級者**  
各自のラケットと体育館シューズを持参してください。

天理大学体育学部キャンパス 総合体育館(サブアリーナ)

**全7回** **申し込み要**[先着順40名]

受講料：4,000円(シャトル代・保険料等含む)

講師 | 体育学科 教授 **中谷 敏昭**  
バドミントンはラケットとシャトルを用いて何回打ち続けられるか、試合で腕試しをするなど、たくさんの魅力があります。講座では、ストロークの基本となる運動を理解して楽しめる内容を用意しました。

第1回 **4/21日** ストロークの基本を学ぼう!

第2回 **5/12日** 力強いストロークのための運動を覚えよう!

第3回 **5/26日** 巧みなストロークを打てるようにしましょう!

第4回 **6/9日** ゲームを理解してやってみよう!

第5回 **6/23日** ダブルスゲームに必要な技術を覚えよう!

第6回 **7/7日** ダブルスのフォーメーションを覚えよう!

第7回 **7/21日** ダブルスゲームを楽しもう!



# 2024 公開講座

## 人文学へのいざない [ 13:30～15:30 ]

大阪市立阿倍野市民学習センター  
(あべのベルタ3階)

**無料** **申し込み要**[定員60名](多数抽選)

各回ごとの申込が必要です。状況により中止または実施方法が変更になる可能性があります。

第1回 **5/25日** 講師 | 宗教学科 教授 **東馬場 郁生** **締切 5/11日 必着**

「きりしたん版」をよむ—印刷機の輸入から迫害の果てまで  
1549年、ザビエルの来航によって幕を開けた日本カトリック伝道。その後、輸入された活版印刷機によって、今日「きりしたん版」と呼ばれる一連の書物の印刷が行われました。徳川時代の過酷なきりしたん迫害を逃れ現存する「きりしたん版」の中から、天理図書館所蔵の天下の孤本(重要文化財指定)を紐解き、その意義について考えます。

第2回 **6/1日** 講師 | 国文学国語学科 教授 **原 豊二** **締切 5/18日 必着**

源氏物語研究の現在  
NHK大河ドラマの題材になった紫式部。その著作『源氏物語』は多くの読者を獲得し、文学作品として高い評価を受けています。一方でこの作品に関わる研究状況についてはあまり知られていません。書誌学、文献学、構想論、構造論、准拠論、テキスト論、作家論(含む伝記研究)、和歌研究など、実は様々な切り口の研究が行われてきました。その一端をここで紹介します。

第3回 **6/8日** 講師 | 社会教育学科 教授 **佐々木 保孝** **締切 5/25日 必着**

地域を元気にするボランティア人財になるう!  
暮らしを支える「地域社会」の縁が薄くなっていると言われて久しいですが、実はそのイメージの次に、学校支援、まちづくり、防災、環境、多文化共生など、多くの取組が地域で展開している状況が生まれてきています。本講では、地域を支える「ボランティア人財」をテーマに、人生百年時代を社会に貢献しながら生き生きと過ごす手がかりを考えます。

第4回 **6/15日** 講師 | 歴史文化学科 講師 **松岡 薫** **締切 6/1日 必着**

俄(にわか)の世界に触れる—お笑い文化の源流—  
ボケとツッコミによる、大阪弁での軽妙なやり取り。漫才や新喜劇などを通じて、こうしたお笑い文化に慣れ親しんでいる方も多いと思います。では、その源流の一つと言われる「俄(にわか)」という芸能をご存じでしょうか?近年では寄席でも減りに演じられなくなった俄ですが、じつは地方の祭りでは今も演じられています。俄の観賞を通じて、お笑い文化について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

第5回 **6/22日** 講師 | 社会福祉学科 教授 **吉田 初恵** **締切 6/8日 必着**

今から始める「人生会議(ACP)」—自らが希望する医療・ケアを受けるために—  
誰でも命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危機が迫った状態になると、多くの方が医療やケアなどを自分で決めたりできなくなると言われています。どのような医療・ケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと共有する取組を「人生会議」といいます。「人生会議」についてこの講座と一緒に考えてみませんか。

第6回 **6/29日** 講師 | 心理学科 教授 **金山 元春** **締切 6/15日 必着**

人と関わる知恵～人生が豊かになる心理学～  
私は、日々の暮らしで、人と人が互いを認め合い、ときに支え、たすけあうような関係はいかにして生まれ、育まれるのか、心理学の観点から研究しています。本講座では、「人と関わる知恵」として、もの見方や考え方が柔軟になり、人付き合いや子育てに役立つ心理学の知見をお伝えします。どうぞお気軽にご参加ください。

## 「大和学」への招待 [ 13:30～15:00 ]

—郡山の歴史と文化2—  
三の丸会館

**無料** **申し込み不要**[定員75名]

(高齢者の方を主たる対象とし、広く一般の方も受講可とします)

第1回 **5/25日** 講師 | 歴史文化学科 教授 **幡鎌 一弘**

『平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。』を読む。  
『郡山の歴史と文化』編集実行委員会によって『平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。』が2022年3月付で上梓されました。学術的なレベルを維持しながら、わかりやすさを目指したこの本をひもといてみたいと思います。

第2回 **6/1日** 講師 | 歴史文化学科 教授 **齊藤 純**

蛍の伝承—佐保川の蛍と「ジャンジャン火迎え」から—  
『民俗芸術』昭和3年7月号の記事「大和のジャンジャン火迎え」によると、6月7日、佐保川の「大仏蛍」が盛んな頃、郡山の町はずれの打合橋で死者供養の「ジャンジャン火迎え」なる踊りを踊るという。記事には怪訝な点もあるが、各地の蛍の伝承を検討すると、蛍を魂に見立てた例は少なくない。それらを紹介し、踊りの伝承の背後にある信仰や考えを探ります。

## 「大和学」への招待 [ 14:30～16:00 ]

—橿原市の歴史と文化—  
かしはら万葉ホール

**無料** **申し込み不要**[定員50名]

(高齢者の方を主たる対象とし、広く一般の方も受講可とします)

第1回 **10/12日** 講師 | 国文学国語学科 講師 **大谷 歩**

「香具山」とは何か  
記紀万葉・風土記にその名がみえる「天の香具山」。橿原市にある大和三山のうち、香具山にだけ「天」が冠されていることが象徴するように、古代から特別な山でした。しかし、各文献に登場する香具山の描かれ方はさまざまです。この講座では、上代文献に描かれる香具山の記述から、古代の人びとが捉えた香具山の姿に迫ります。

第2回 **10/19日** 講師 | 歴史文化学科 教授 **天野 忠幸**

織豊政権と今井  
「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した今井は、浄土真宗の寺内町として、戦国時代に発展しました。やがて、織田信長と大坂本願寺の戦争が始まる中、今井寺内町はどう生き抜いたのか、そして、天下一統の世に、今井兵部が豊臣政権とどのようにかかわっていたのかを見ていきます。

## 多文化理解へのいざない [ 13:30～15:00 ]

奈良新聞社  
(3階 セミナールーム)

**無料** **申し込み要**[先着順30名]

各回ごとの申込が必要です。

第1回 **6/15日** 講師 | 外国語学科 教授 **奥島 美夏**

ボルネオ島カヤンの口頭伝承とインドシナからの民族移動  
インドネシア・マレーシア・ブルネイに三分されるボルネオ島奥地にすむカヤン(カヤン系言語諸族)は、美しいメロディーや韻文からなる口頭伝承を多数保有している。使われている言葉や物語から、彼らの先祖はインドシナ半島(主にベトナムとその周辺)からやって来たという新事実がみえてきた。今回の報告ではその口頭伝承の研究を紹介したい。

第2回 **6/22日** 講師 | 日本学科(留学生対象) 教授 **芹澤 知広**

多民族社会における家・墓・祖先祭祀: ベトナム南部メコンデルタの事例  
ベトナム南部のメコンデルタは、クメール人(カンボジアの主要民族)が先住していた場所に、華人(中国大陸からの移民)とキン人(ベトナムの主要民族)が後に多く移住し、3民族が通婚を重ねて共住してきた地域である。この多民族社会において家屋の相続と祖先の祭祀はいかに行われているのか。チャンビン省での実地調査にもとづいて紹介する。

第3回 **6/29日** 講師 | 国際文化学科 准教授 **服部 志帆**

中央アフリカの「イクメン」たち—狩猟採集民アカの子育て—  
中央アフリカに暮らす狩猟採集民アカは、母親に限らず、父親も子育てに積極的に従事する。母親が森に採集に出かけた後、集落では父親が抱っこ紐で幼児を抱き、優しい声であやす姿がしばしば見られる。そんな父親に幼児はなつき、身体的かつ精神的に強い父子関係を築いている。本講座では、森の中の「イクメン」ともいえるアカの男性による子育てについて紹介し、異文化をとおして育児のあり方を考えたい。

## ウェルネスライフのすすめ [ 14:30～16:00 ]

かしはら万葉ホール

**無料** **申し込み不要**[先着順50名]

第1回 **11/2日** 講師 | 看護学科 教授 **乾 富士男**

健康にまつわる遺伝と環境  
健康という環境要因(食事や運動など)に注目しがちですが、遺伝が違うのに環境はみんな同じで良いのでしょうか。例えば、BMI(体重/身長<sup>2</sup>)という体格の目安は22[kg/m<sup>2</sup>]前後が標準(あるいは適正)といわれています。ところが、BMIの遺伝率(集団での遺伝の影響がある割合)が70%程度あります。つまり、同じ環境がみんなにとって最善とはいえないかもしれません。

第2回 **11/9日** 講師 | 臨床検査学科 教授 **山西 八郎**

臨床検査の源流 “尿検査” について  
臨床検査の起源は今から2400年以上前のヒポクラテスの時代にまでさかのぼることができます。そして、その源流は尿の色調や外観を観察する尿検査だとされています。ただし、現代医学においてもこれらの検査結果は重要な臨床情報としてカルテ等に記載されます。尿生成の仕組みと色調、外観から得られる臨床情報について述べさせていただきます。